

私たちが安心して暮らしていくために考える政治のこと

コロナ禍でバイトをクビになり、フリーランス・独身女性としての生きづらさを痛感したライターの和田静香さん。

和田さんは、「女性議員ならこの不安を自分ごととして考えてくれるのでは？」との思いから、パリテ（男女同数議会）を20年以上続けてきた神奈川県・大磯町議会を取材して、一冊の本にまとめられました。

ご自身の経験や取材を通した話をお聴きしながら、私たちの暮らしと政治とのかかわりについて、一緒に考えてみませんか。



2025. **9.21** (日)
13:30～15:30 (13:00開場)

★会場：アバンセ 4階 第2研修室
★定員：40名（要申込、先着順）
★対象：どなたでも

参加
無料
(要申込)

プログラム

【講演】和田 静香 さん（ライター）

【対談】和田 静香 さん × 田口 香津子（アバンセ館長）

申込方法

8/5(火) 10:00より申込受付開始※

★アバンセホームページの申込フォーム、または電話、FAX、窓口のいずれかで、氏名・住所・電話番号・メールアドレスをお伝えの上、お申込みください。

（参加決定者には、後日、入場券となるハガキをお送りします）

※受付開始前にいただいたお申込みは、翌日8/6(水)の受付分といたします。
予めご了承ください。

★一時保育（無料、生後6か月～就学前まで）を希望される方は、9/11(木)までにお申込みください。 ※先着若干名受付

ホーム
ページは
こちら



裏面も
ご覧ください

申込み 問合せ

佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ） TEL：0952-26-0011 ※月曜休館
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11（どんどんの森内） Eメール：danjo@avance.or.jp

講師プロフィール

ワダ シズカ

和田 静香 さん

静岡県出身 1965年生まれ。

20歳のときに音楽評論家／作詞家の湯川れい子さんのアシスタントに。

その後フリーのライターとして主にエンタメや相撲について書くも、

40代を超えて徐々に仕事が減ってアルバイト生活に。

コロナ禍にバイトが全部なくなって土俵際に追い詰められ、

衆議院議員小川淳也氏に「苦しい生活は私のせいですか？」と問答を申し込む。

それを書いた「時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか？国会議員に

聞いてみた。」（左右社）が政治分野では異例のヒットに。

またその問答の中で生じた女性議員は何故少ない？の疑問から、男女同数議会
が20年以上続く神奈川県大磯町を1年間に渡って取材。

「50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていく
ために考えた身近な政治のこと」（左右社）を出版。



送信先：アバンセ事業部 FAX 0952-25-5591

※FAXの場合は切り取らずにこのまま送信してください

令和7年度 政治参画セミナー（公開講座）

「私たちが安心して暮らしていくために考える政治のこと」参加申込書

※お申し込み後、5日経過しても参加の可否について連絡がない場合は、アバンセまでご連絡ください。

(フリガナ) 氏 名			
電話番号		メールアドレス ※danjo@avance.or.jp から受信できるように 受信設定をお願いします。	
住 所 ※参加決定通知書や一時保育に 必要な書類をお送りします。	〒		
一時保育(9/11※締切) ※対象:生後6か月～就学前	☐ 不要	お子さんの名前（フリガナ）・月齢	お子さんの名前（フリガナ）・月齢
	☐ 希望 (右欄も記入)	(歳 か月)	(歳 か月)

※天候や感染症の流行等によっては、講座を中止または変更する場合があります。

※お申し込みの際に収集した個人情報は、本事業の目的以外で使用することはありません。

※本講座の様子を撮影した写真は、アバンセのホームページ等に掲載させていただく場合がありますので、予めご了承ください。